

1. 目的

ミズベリングは、これまで水辺(MIZBE)という公共空間を活かす取り組みや人々との輪(RING)を拡げてきました。

これらの取り組みでは、河川管理者や沿川自治体のみならず、市民団体や民間企業等の水辺を愛する人々(ミズベリスト)が官民の境界を越えて主体的に関わる行動力、つまり「公共越境力」が成功の最大の秘訣と言えます。

そこで、ミズベリングが培った「公共越境力」を未来のミズベリストと存分に分かち合い、新たな水辺(MIZBE)のリノベーション(R)が全国各地で進行(ING)することを目指し、WEB講座 公共越境力養成塾“KAWAREL MIZBERING CAMPUS”を開講します。

2. 参加要件

- ① 市区町村・都道府県・国、市民団体、民間企業の方で、以下のいずれかの取組に意欲があること。
 - (ア) 2～3年以内にかわまちづくりなどの取組を行う予定もしくは、検討している方
 - (イ) これまで水辺空間を活用しているが、活用に伸び悩みを持っている方
 - (ウ) 新しい知識を吸収し、前向きに水辺空間を含めた公共空間の課題を解決しようとする意欲がある方。
- ② 各受講者が、本スクールの全カリキュラム(課題の作成を含む)への参加が可能であること。
- ③ 受講に必要となるオンライン会議ソフト等のインストールが可能なパソコンもしくはタブレット・スマートフォン端末及びインターネットに接続できる環境、オンラインでの双方向コミュニケーション環境(WEBカメラ、マイク等)を準備できること。(原則オンライン講座となるため、パソコンもしくはタブレット端末での参加を推奨)
- ④ 指定するSNSサービスを登録していただけること。
- ⑤ 受講にあたっては所属部署の長の了承を得ること。

3. 受講の流れ

Facebook 機能を活用し、動画の視聴、オンラインワークショップなどを行う。

初回はグループ毎にオンラインオリエンテーションを行う。各回の講義では、オンラインでライブ参加し、グループ毎に、講師によるライブ配信を視聴後、10分程度のグループミーティングの時間を設け、振り返りやディカッション、課題の提示などを行う。(なお、やむを得ずライブ参加できない場合は、後日編集した動画の視聴も可能とする)

受講を通して「今後の水辺空間や公共空間活用をどのように取組むか」について発表を行う予定。

4. カリキュラム・スケジュール（予定のため、変更の場合があります）

別紙—2のとおり

5. 課題について

- ① 気づきノートの作成—受講を通して気づいたことをノートにつける
- ② マイ・パラダイムシフトを作成—社会状況の変化を自分なりに整理する
- ③ グループワークにおける課題は後日発表

6. 定員

約50名（※定員を超える場合、参加申込理由により選考を行います。）

7. 参加費

参加費用は無料ですが、現地参加に係る交通費・宿泊費等は各自負担となります。

（現地参加の機会の有無については現時点では未定です）

8. 申込方法

Facebook ページ (<https://fb.me/KawarelMizberingCampus>) あてに、必要事項（氏名／年齢／性別／所属・役職／Kawarel Mizbering Campus への参加申込理由、意気込み）記入の上、メッセージをお送りください。

締め切り：11月2日（月）

なお、事務局からの Facebook アカウント宛の返信メッセージを持って申込完了となります。詳細は、KAWAREL MIZBERING CAMPUSウェブサイト (<http://kawarel2020.mizbering.jp/>) をご参照ください。

9. 問合せ先

ご不明点がございましたら、以下までご連絡ください。

<講義内容・参加要件>

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 課長補佐 熊木、河川環境教育係長 堀江

TEL：(03)5253-8111（内線 35432・35433）

(03) 5253-8447（夜間）

FAX (03) 5253-1603

<申し込み、その他のご質問>

「公共越境力養成講座」事務局

ミズベリング事務局 岩本・滝澤

メール：<https://m.me/KawarelMizberingCampus>